



ASEAN 諸国への技能評価システムの 移転事業の取組み

情報通信エンジニアリング協会
研修部 東日本研修センタ

1. はじめに

昨年度、協会として初めて、ASEAN諸国への「情報配線施工」の技能評価システム移転事業に取り組み始めましたが、今年度は新たに会員各社のご協力も得て、取組みを継続しているところです。今年度の取組み状況について、以下ご紹介いたします。

2. 昨年度の取組み

厚生労働省が主管で実施している「技能評価システム移転促進事業」とは、政府開発援助（ODA、一般会計）に基づく国際協力の一環として、日本の技能評価システムをアジアの開発途上国9カ国（インドネシア、タイ、ベトナム、マレーシア、フィリピン、カンボジア、ラオス、インドおよびミャンマー）へ移転・普及し、当該国の人材養成に資する事業です。

平成24年度から「情報配線施工」の職種が追加され、この事業を主体的に実施している中央職業能力開発協会(JAVADA)からの依頼を受け、昨年平成24年度は協会主体で以下

の取組みを実施してきました。

- (1)ASEANからの研修生の受け入れ
研修受入：7カ国 20名
研修実施：ITEA東日本研修センタ
研修時期：平成24.9/24～10/3
- (2)ASEAN各国での技能評価トライアル
実施のための技術指導員(サポート)の派遣
派遣国：6カ国
(タイ、マレーシア、ベトナム、ラオス、カンボジア、フィリピン)
派遣指導員：協会職員3名で対応
※インドネシアについては、協和エクシオ社が個別に対応

3. 今年度の取組み

平成25年度についても、昨年度に引き続き中央職業能力開発協会(JAVADA)から支援の協力依頼があったことから、会員会社の協力も得て、移転事業への協力を実施してきました。

<支援国>

- ASEAN 5カ国
タイ、マレーシア、ベトナム、ラオス、カンボジア

<支援内容>

- ・評価者講習、評価システムのトライアル実施
 - ・デモ（技能五輪）の実施 等
- 今回は、移転事業も2年目を迎えていることから、協会職員だけでなく会員会社の皆様にもご協力をいただき、実施することといたしました（運営幹事会等で審議）。具体的には、ベトナムを除く4カ国の支援を実施しましたので、以下その状況について、ご報告します。（ベトナムはきんでん社が対応）

(1)タイ (図1)

- 対応者：ミライト・テクノロジー 岩井様
- 時期：1回目平成25.8/31～9/7
2回目平成25.11/26～12/1

○支援内容

- ・1回目：評価者講習
- ・2回目：トライアル実施

(2)マレーシア (図2)

- 対応者：協和エクシオ 佐川様、森野様
- 時期：平成25.9/22～9/29
- 支援内容

1回目（評価者講習）

2回目（トライアル）



図1 タイでの支援

- ・評価者講習、トライアル実施
- ・森野様によるデモ（技能五輪）実施

(3)ラオス (図3)

○対応者：ITEA 上村、TTK 三浦様

○時期：平成26.1/11～1/18

○支援内容

- ・評価者講習、トライアル実施

(4)カンボジア (図4)

○対応者：ITEA 戸田、NDS 野末様

○時期：平成26.1/18～1/25

○支援内容

- ・評価者講習、トライアル実施

4. 今年度の対応をふり返って

今年度は2年目ということで、昨年度日本に研修生として来たメンバが各国の技能評価システム立ち上げのためのキーパーソンとして活躍しており、これまでの活動が徐々に目

に見える形で成果として表れていることが確認できました。

しかしながら、各国もいろいろ試行錯誤を重ねながらこれらの事業に取り組んでいる途上であり、国と国とのやり取りですから言葉の壁を含め日本と各国との意思疎通も、うまくいくところもあれば行き違いとなることもあり、トラブルも多数発生しました。今回対応していただいた皆様にはそのトラブルの対応等で大変なご苦労をおかけしましたが、少しずつ各国の技術力も向上し、移転事業の定着も大きく進展していることが直接確認できたことから、大きな成果を残すことができました。また、今年度の新しい取組みとして、以下のような改善も行いました。

○ASEAN共通課題への取組み

昨年度は、日本の技能評価システムをそのまま移転する内容としてい

ましたが、技能五輪国際大会とのつながりも考慮し広くASEAN共通的に使える内容にシフトすることとし、その内容でトライアル等を実施しました。

○ビデオ会議を用いた事前の打合せ

各国で使用している部材等が違うことから、事前に各国の担当者とメール等でやりとりをしても、実際に現地入りをする想定と違う環境となっていてトラブルとなるケースがあったことから、今年度より各国に行く前に事前にビデオミーティングを実施し、使用する部材等を映像で直接確認する形に変更しました。これにより、事前に実際の環境を目で確認できたことから、トラブルをかなり減らすことができました。

5. おわりに

今年度のASEAN諸国への技能移転事業の実施にあたっては、すでに記載させていただいたように、多くの会員会社の皆様のご協力のもとに実施することができました。ここに改めて感謝いたします。来年度以降の対応については、未定ですが、引き続き、世の中のグローバル化に対応できるよう、JAVADAから要請があれば対応していく予定です。

評価者講習・トライアル



デモ



図2 マレーシアでの支援

評価者講習・トライアル



図3 ラオスでの支援

図4 カンボジアでの支援